

将来の影響に「適応」するために

我が国において、気温や水温の上昇、降水日数の減少などに伴い、農作物の収量の変化や品質の低下、漁獲量の変化、動植物の分布域の変化やサンゴの白化、さくらの開花の早期化などの気候変動による影響がすでに現れています。今後どのような温暖化対策を取ったとしても日本の将来の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて気候変動の影響のリスクは高まると予測されており、温暖化が進むにつれて、自然災害、農業、自然生態系、健康など様々な面で深刻な影響が生じる恐れがあります。気候変動の影響に総合的かつ計画的に対処するため、本年11月末に政府として初の「気候変動の影響への適応計画」を閣議決定しました。本計画に基づき、政府、地方公共団体、事業者、国民などの各主体が地域の特性を踏まえてその対策に取り組んでいくことが重要となります。

本シンポジウムでは、気候変動による地域への影響や実施されている対策を紹介し、九州地方・熊本県において今後どのような対策を進めていくべきか、一人ひとりにできることから考えます。

日時: **2016年1月22日(金)** 13:30~16:30 (開場 13:00)

場所: **くまもと森都心プラザ5F プラザホール**
(住所: 熊本市西区春日1-14-1 / アクセス: JR熊本駅白川口(東口)正面)

定員: **120名**(事前申込み制) 参加費: **無料**

主催: 環境省 共催: 熊本県

第1部 基調講演

- 「気候変動による影響と適応について」/ 環境省研究調査室
- 「地球温暖化と水害、その対策」(仮題) / 小松利光 (九州大学 名誉教授)

第2部 トークセッション&パネルディスカッション

コーディネーター **平石伊彦** (地球環境戦略研究機関参与 / 前IPCCインベントリタスクフォース共同議長)

トークセッション **田中律子** (女優 / NPO法人アクアプラネット理事長)
「この海を100年後の子供たちに残したい」という思いを、サンゴ礁再生活動を中心に実践中。

パネリスト **栗原めぐみ** (熊本放送 気象キャスター / 気象予報士)
熊本放送の気象キャスターとして活躍中。

田邊裕正 (くまもと温暖化対策センター理事長)

県立済々黌高等学校2年4組代表
平成26年度スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定校



田中律子



栗原めぐみ

講演者プロフィール

小松利光 (こまつ・としみつ)



環境水理学、河川工学、海岸工学、防災工学を専門とし、1980年より九州大学工学部助教授、教授、九州大学名誉教授・特命教授を務め、土木学会で理事、西部支部長、水工学委員会委員長、国交省河川審議会専門委員等を歴任。現在、九州大学名誉教授、日本学術会議会員、世界工学団体連盟(WFEO)副会長、災害リスク管理委員会(CDRM)委員長等。

平石伊彦 (ひらいし・たかひこ)



東京大学工学部卒業。東京大学大学院修士課程修了。環境庁にて有害化学物質、水質汚濁等、様々な分野の公害対策に従事。ケニア大使館、経済協力開発機構(OECD)を経て、国連環境計画(UNEP)事務局にて環境アセスメント・情報局長等を歴任。1999年より2015年10月まで気候変動に関する政府間パネル(IPCC)に参画。IPCC国別温室効果ガスインベントリータスクフォース共同議長を務めるなど、日本人で唯一のビューロー委員として活躍した。

田邊裕正 (たなべ・ひろまさ)



同氏が理事長を務める「くまもと温暖化対策センター」は、節電・省エネ活動の推進に加え、小水力発電や太陽光発電の推進など、創エネ活動を合わせて展開。毎日の市民生活や事業活動においてできる節電や省エネの情報を、各地の地球温暖化防止活動推進員や温暖化対策地域協議会の皆さんと共に発信している。

田中律子 (たなか・りつこ)



女優。NPO法人アクアプラネット理事長。テレビ朝日「路線バスで寄り道の旅」レギュラー出演中。徳光和夫さんと親子のような掛け合いが好評。ヨガやダイビングのインストラクター資格をもち、地球温暖化の指標でもあるサンゴ礁の保護活動にも熱心に取り組む。

栗原めぐみ (くりはら・めぐみ)



RKK熊本放送の気象キャスター。「熊本県民を気象災害から守ることが使命」と語る。現在、平日夕方18:15からの「RKK NEWS JUST」で、県民の皆さんへお天気情報を届けている。

県立済々黌高等学校 (けんりつ せいせいこうこうとうがっこう)

「持続可能性を確保する開発と地球環境保全のあり方」をテーマとして、気候変動、水質汚染、生物多様性の喪失、大気汚染、化学物質、生態系、森林伐採など、地球環境の開発と保全等について研究する。地域特有の問題である水俣病、有明海の再生と生態系の問題、大陸からの越境大気汚染の問題、さらには水道資源のほぼ100%を地下水で賄う豊かな水資源など、地域に密着した研究と世界の環境問題をパラレルに展開し、研究。

「地域から考える気候変動問題」(in熊本)参加申込方法

申込・問合せ先

地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2016年1月18日(月) 必着

WEB申込フォームまたは、FAX/電子メールにて受付

シンポジウムへのご参加には申込フォーム(推奨)から、またはE-mailかFAXでの事前申込みが必要になります。

FAX、E-メールでの参加申込

件名に「1/22熊本シンポ参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
 - ②E-mailアドレスまたはFAX番号
 - ③電話番号
 - ④ご職業(必須ではありません)
 - ⑤年代(10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80才以上)
- をご記載の上、下記までお申込み下さい。

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- 定員に達した場合のみ、ご連絡します。
- FAX申し込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- 申込フォームの場合、自動返信メールをスマホ等でご持参下さい。
- ご記入いただきました個人情報、今後、同種のご案内に限り活用させていただきます。

WEB申込フォームでの参加申込

「地球・人間環境フォーラム」
www.gef.or.jpの
お知らせ&イベントページ
よりお申込み下さい。

